

平成 30 年度

事務事業外部評価

評価結果報告書

平成 30 年 12 月

蕪崎市事務事業外部評価委員会

この「評価結果報告書」は、平成30年11月5日、12日に実施した蕪崎市事務事業外部評価委員会による評価をもとに作成したものであります。

1 実施内容

平成30年度評価対象事業は、内部評価64事業の中から、事前に外部評価委員が希望した事業を中心に20事業を対象として選択しました。

日時：平成30年11月5日（月）及び12日（月）

会場：蕪崎市役所4階 大会議室

公開の有無：一般公開

評価方法：事務事業評価シートによる聞き取りを行い、委員評価の多数決を採択

2 評価結果

「拡大」は8事業、「全部改善」2事業、「一部改善」10事業となり、「縮小」及び「廃止」と評価された事業はありませんでした。

各評価の概要は、以下のとおりです。

○「拡大」：8事業

英語教育強化地域拠点事業、生涯学習市民講座開設事業、観光プロモーション推進事業、任意事業、資源リサイクル推進事業、人事評価制度、ファミリーサポート支援事業、健康ポイント事業

まず、英語教育強化地域拠点事業は、モデル事業として国の補助を受け実施された事業であり、平成29年度でモデル事業としては終了となります。今後は学習指導要領の

改訂に伴い、教科化され行われる授業だけでなく、国際交流事業を活用するなど異文化との直接的な触れ合いも積極的に取り組まれることを望みます。

次に、生涯学習市民講座開設事業は、中央公民館及び地区公民館を中心に市民講座を行う事業です。生涯学習は、個人の豊かな人生への支援や地域のつながり、活性化にも寄与することから、今後も新しいニーズを掘り起こすとともに積極的な情報提供が行われることを期待し、拡大としました。

次に、観光プロモーション推進事業は、春と秋に中央公園を会場として行われるウォーキング事業として実施され、毎年改善が図られています。他市からの参加者が多いことから担当課のみの事業として行うことなく、市全体の事業として庁内で連携して取り組まれることを期待しています。

次に、任意事業は、介護保険では補えない事業を行っています。特に認知症サポーター養成事業は、国や県の平均よりも高く積極的に養成されていることを伺うことができます。高齢化社会において認知症への理解や対応は、非常に重要であるので、さらなる事業推進を望みます。

次に、資源リサイクル推進事業は、ゴミの減量のため市民へ積極的に啓発を行うほか、将来的には、ゴミの有料化やゴミ袋への記名を検討されるなど、ゴミの減量化につながる事業となることを期待します。

次に、人事評価制度は、単なる評価にとどまることなく、職員の意識改革や人材育成につなげていくことが重要であると考え、拡大としました。

次に、ファミリーサポート支援事業は、子育て支援策として実施されている事業の1つですが、利用者も多く、有用に利用されていると感じられます。今後は、サポートを必要としている方が利用できるよう協力会員の増加とこれまで以上の周知を行っていただくことを期待し、拡大としました。

最後に、健康ポイント事業は、LINE アプリで参加できるようにするなど先進的に取り組んでいると評価できます。今後は、若年層の参加者が増えるような方策の検討、スポーツ振興などの他課、他事業と横断的に取り組まれることを期待しています。

○「全部改善」：2事業

ふるさと山岳体験事業、ことぶき長寿記念事業

まず、ふるさと山岳体験事業は、市内在住の中学生を対象として鳳凰三山の1つである薬師岳へ登山する事業であります。登山を通じて心身を鍛えるとともに環境保全の大切さを学ぶ良い事業と考えますが、参加者が少なく事業効果が限定的であると思います。登山対象の山の変更や日帰り登山にするなど、初心者が参加できるよう全面的な見直しをしていただきたいと思います。

次に、ことぶき長寿記念事業は、77歳と88歳と100歳にお祝い金を支給する事業です。平均寿命が高くなり、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えると、特に77歳の支給は抜本的に見直す必要があると思います。しかし、100歳については、敬意を表するためにも継続していただきたいと思います。

○「一部改善」：10事業

有害鳥獣駆除対策事業、まちなか活性化推進事業、観光振興事業、木造住宅耐震改修事業、水道施設耐震化事業、特定健診・特定保健指導事業、空き家バンク制度、幸せ結婚・出産応援事業（婚活イベント）、災害対策事業、地区活動推進事業

「一部改善」とされた事業については、常に創意工夫をしながら単に前例を踏襲することなく事業を実施し、課題に取り組んでいていただきたいと思います。なお、「一部改善」の事業評価結果については、結果一覧を参考に効果的な事業実施につなげていただきたいと思います。

以上、各評価結果に対する意見の概要ではありますが、これは断片的な意見でもありますので、詳細は『平成 30 年度事務事業外部評価委員会開催結果』を参照してください。

3 むすび

昨年度に引き続いて、20 の事務事業を対象として評価をしました。個々の事業としては、着実に実施されていると思いますが、縦割りの意識を排除し、他事業との連携や他課と協働することにより、相乗効果が発揮され、市民サービスの向上につながるものと考えます。

また、今回、拡大と評価した事業についても、コスト意識を持ち、最小の投資で、最大の効果が得られる手法を検討していただきたいと思います。市におけるすべての事務事業を毎年対象として評価することができず、2、3年に一度の評価となりますが、常に問題意識を持ち、小さなことでも改善していくことが重要でありますので、評価対象となっていない事業についても、改善していただきたいと思います。

最後に、来年度以降は、現在策定中の第7次総合計画を確実に実行し、市が掲げる将来像の実現のために、取り組まれることを期待しています。

平成 30 年 12 月 10 日

韮崎市事務事業外部評価委員会

委員長 井原 久光

委員 向山 富士雄

委員 保坂 耕

委員 千野 良子

委員 河西 久美

平成30年度事務事業外部評価委員会開催結果（11月5日・12日 @市役所4階 大会議室）

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
1	英語教育強化地域拠点事業	拡大	拡大	補助金の期限は切れてしまうが、英語教育のニーズは高まると思われる。成果指標が「教員のスキルアップ」なのか「英語力の向上」なのか明確にして、それぞれの指標について研究したらよいのではないか。
			拡大	英語の会話力向上に更なる事業努力と30年以降でも実践を続けるための予算面での配慮を願いたい。教員・教科の為の評価に偏らない客観的な語学力を中心とした別の評価（指導法）を設定することも期待し、事業拡大を望みたい。
			拡大	将来の子ども教育の為には、重要な必要事項だと思う。子どものうちに楽しく学べるのが大切になるので、堅苦しくならない学習が必要と思われる。
			拡大	日本の今後を考えると、英語教育は非常に大切。異文化との触れ合いも含めて積極的に取り組んでいく必要がある。
			拡大	27年度から3年間のモデル事業で上がった教員・生徒のスキルを継続する為に積極的に取り組んでほしい。配置人数もより多く確保できると良い。葦崎市の教育の良さもアピールポイントになるのでは。
2	生涯学習市民講座開設事業	拡大	拡大	中央公民館の事業は生涯学習ボランティアの企画などで充実しているようだが、地区公民館の活力については横の連携や全体のボトムアップに工夫をしてはどうか。
			拡大	地区公民館と中央公民館とのネットワークは十分に出来ていると思う。ボランティアの育成と住民ニーズ（情報、プログラムなど）の実現に向けた安定した事業実践であってほしい。（予算の確保、人の確保）
			拡大	生涯学習は、個人の豊かな人生への支援になることと、地域のつながり、活性化にも大切。多様な講座の展開、及び、分館への働きかけをお願いしたい。
			一部改善	今までの運用でよいと考える。
			拡大	生涯学習推進宣言都市としてますます推進していくべき事業。これからも新しいニーズも掘り起こし、情報提供をしてもらいたい。広く周知できる工夫も必要かも。
3	ふるさと山岳体験事業	全部改善	全部改善	鳳凰三山にこだわらなくてもよいかも。回数と人数を増やす方向で全面的に見直し改善をした方がよいのではないか。
			全部改善	山岳文化を学ぶための計画の見直しと学校現場との連携について再考の必要あり。
			全部改善	ハードルが高い山はやめて、甘利山のような簡易に体験できる山の方が参加しやすいのではないか。…参加しやすい内容が望ましい。
			全部改善	登山体験は必要と考えるが、もう少し参加人数が増加する工夫が必要。（日帰りとか登山する山の選定等）
			全部改善	葦崎市民として甘利山に一度は登っておきたい。小学校のカリキュラムに取り入れることが出来るとよい。（いきなり鳳凰三山ではハードルが高い。）山に囲まれた自然環境の良さを根付かせる。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
4	観光プロモーション推進事業	拡大	拡大	子どもやブドウや開催時間の問題なのではなくて、スポンサーなど民間企業を活用するためにも、企画の主体（誰が）とコンセプト（何のために）を明確にする必要がある。全庁的プロジェクトになるとよい。
			拡大	市の各課のセクションにこだわらない総合的（全庁的）（教委、観光、産業など）な事業に発展出来るような事業展開を望みたい。（エージェント、スポンサー、報道も巻き込んだ内容）
			拡大	とても大切な事業であり、年々伸びてきているので、今後も拡大、拡充を願いたい。規模も拡大してきたので、市全体を捉えた事業としたらどうか。
			一部改善	効果的な事業であるので、今後さらにコンセプトを明確にして発展させてほしい事業である。歩く距離の検討もお願いしたい。
			一部改善	観光課との連携をするべき。『葦崎の自然史跡の良さを感じながら歩く』とか。絆フェスを続けるならもっと連携するべき。パンフレットにも一考を。
5	任意事業	拡大	拡大	認知症サポート講座受講者が県（10%）より多く、葦崎市の特長となっているようなので、今後も頑張ってほしい。
			拡大	成果指標の設定（算出法）は良いと思うが、例えばサポーター養成講座等は、更なる内容の充実と向上に向けたプログラムを再構築されたい。
			一部改善	この事業に係る事業は今後対象者が増加する件であると思われるので、なお充実することを望む。
			一部改善	高齢社会の中で介護保険の対象外の事業は重要と考える。認知症への対応は今後さらに必要と考えるため、市民への教育を積極的に進めて欲しい。
			拡大	これからも認知症サポーター要請講座の受講数をもっと増やして底辺の拡大を図る。もう一歩進んだ講座を開催してもよい。他はよくやっている。
6	有害鳥獣駆除対策事業	一部改善	一部改善	集落環境診断など時間がかかるかもしれないが何らかの工夫が必要と思う。
			一部改善	周辺環境の整備と改善を行いつつ、国・県との益々の連携強化しながら、民の力を引き出せるような新たな行政の取り組みを考える時代が来ていると思われる。
			拡大	有害鳥獣駆除は市民全体として大切なこと。今後も被害が拡大される恐れがあるので、捕獲及び電気柵等の維持管理は必要と思う。
			一部改善	今後さらに大きくなる問題だと思うので、継続した取り組みが必要と考える。対策も工夫が必要。（河川敷の整備、薬物の使用等）
			拡大	河川の整備等必要。重要な事案であるので、なんとか効果の上がる施策をお願いしたい。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
7	まちなか活性化推進事業	一部改善	一部改善	商品券は10年やって効果がないようなら見直しが必要ではないか。
			一部改善	あらゆる活性化に向けての可能性について見極めながら、先進市等の事業実践も含めて革新的取り組みを期待したい。個の店舗の個性を創出した事業の展開を含めて。
			一部改善	話題に出た商品券は議論のとおり再考が必要。まちなか活性化は非常に難しい事業だと思う。他地域の事例を参考にしながら事業を進めて欲しい。
			一部改善	まちなか活性化推進事業全体は重要な事業である。（商品券利用などは今後検討する必要がある）
			一部改善	ふれあい商品券は10年間で一定の成果もあったが、食品スーパーの倒産もあり検討の時期であろう。まちなかの活性化につながる事業を企画する事業者、団体を応援する事業にしていく。
8	観光振興事業	一部改善	一部改善	インバウンドブームの中、観光入込客数が横ばいなのは問題ではないか。公平性より重点的に観光振興を進めた方がいいのでは。
			一部改善	観光に関する外部（市外・県外）への広報アピールが少なく目立たない。エージェントへのアプローチは元より、雑誌や業界紙への更なる発信の強化を図りたい。ホテル誘致など滞在型・観光地へのシフトも含め将来的なビジョンも必要な時ではないか。組織業務内容の見直しも含め、次代に合った事業の取り組みを願う。
			一部改善	観光に関わる事業については、イベントの開催及び広報の重要性は大切。その上で、観光資源（歴史、文化、景観ばかりでなく）季節に応じた集客や、体験できる集客などが出来ればよいと思う。外からの人材があればなお望ましい。
			一部改善	観光振興は韮崎市の将来構想上からも重要な事業である。平均的な考えではなく、アイデアややる気をさらに上押しする姿勢で取り組んで欲しい。対応する人たちへの接遇教育も必要と考える。
			拡大	各地区でのイベント事業に補助金を出していく。市外へのアピールをしていく。重点的につぎこむところはつぎこむ！
9	資源リサイクル推進事業	拡大	拡大	現状は問題は大きくないようだが、将来はゴミの有料化も必要になるかもしれません。ゴミ減量目標を決めたり、促進月間を設けることも検討したらどうか。
			拡大	成果・まちづくり指標共に努力成果が見て取れる。行政・市民の更なる協働による良い意味での環境（ゴミ）サイクルが確立しつつあるのではないか。
			拡大	大切な事業であり、市民の適切な行動が必要な事業である。すでに周知されていることが多いが、なお一層の周知徹底を望む。
			一部改善	ゴミ減量化は重要な事項であり、市民への啓発をさらに進めていく必要がある。
			拡大	一般ゴミ減量も含め市民への一層の喚起を促す。市報などで浮いた事業費を示すなど。（減量月間とか）

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
10	人事評価制度	拡大	拡大	目標管理のポイントは業績評価の客観性なので、市民目線で行政サービスのアウトプット・アウトカムとうまくつなげて欲しい。
			一部改善	制度による評価については必要であるが、各課各係内での市民サービス向上に更なる研修を深め、目標の設定（指標設定）には十分な配慮と各職員の達成への努力に期待したい。
			拡大	時代の流れで実施しなければならないと思う。職員全体の意識を高めることになるので、必要。とのことが市民の評価に繋がるので、内容の公平性を保ちながら実施して欲しい。
			一部改善	人事評価制度は重要であるが、効果的に実施するのは難しいので、評価者・被評価者ともに研修などを積み重ねて行って欲しい。市長の理念を職員全員に浸透させる手段にして欲しい。
			拡大	人事評価によってより良い人材の育成に繋がるよう研修も重ね、慎重に進めていきたい。
11	木造住宅耐震改修事業	一部改善	一部改善	ブロック塀対策と景観づくりを組み合わせると新しく予算を立ててみてはどうか。
			全部改善	市民の耐震への強い意志と住宅の改修や継続を考えると、ケースバイケースである。ブロック塀の改修など何が一番重要か再度改修事業内容の見直しを図る必要がある。
			一部改善	事業としては必要な事業であると思うが、対象者の考え方の問題であると思う。ブロック塀の課題が提案されたが、対人問題なので能動的に考えて欲しい。総務課の危機管理担当と協働し、周知と推進を図ったらどうか。
			全部改善	安心・安全に生活できる地域体制のためには、住宅の耐震改修工事は必要であると考えているが、事業内容の検討が必要ではないか。また、ブロック塀の耐震なども合わせて考えて欲しい。（まちづくりの一環として考えてみるのも良いのではないか。）
			拡大	耐震診断、シェルターの紹介、改修については啓発を進める。ブロック塀補修の補助事業は、国の対応を待たず新設するべき。
12	水道施設耐震化事業	一部改善	一部改善	効率的な運営を進めるしかないのでは。有収率を上げる工夫が必要ではないか。
			一部改善	ライフラインの断絶を防ぐことは最大の条件ではあるが、基幹管路を優先しながら（更なる）コストパフォーマンスで対応して欲しい。
			一部改善	大切な事業であるので、可能な限り効率的に事業を進め、耐震化率を上げて欲しい。
			一部改善	ライフラインの確保は、安心・安全に生活するためには必要であり、計画的に継続する必要がある。コスト面での検討等をお願いしたい。
			拡大	災害拠点等を中心に、優先して耐震化を進めることを推進していくべき。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
13	ファミリーサポート支援事業	拡大	一部改善	協力会員への周知、人員確保が重要。両方会員のロコミ推進はどうか。
			拡大	システムのにも内容的にもかなり充実していると思われる。更なる社会的ニーズへの細部にもいきわたる対応に期待したい。(周知・広報)
			拡大	事業として利用者にとっては大切な事業だと思う。依頼会員、協力会員の広報・周知をより図って欲しい。
			一部改善	子育て支援として意義のある事業であると考ええる。継続が必要。
			拡大	子育て世代にとっては良い制度である。もっと利用者、協力者を増やす手立てを考えるべき。
14	ことぶき長寿記念事業	全部改善	全部改善	人口シミュレーションから見て必ず行き詰まる事業。抜本的に見直す必要がある。高齢者にとって大事な事業にお金を使うべきではないか。
			全部改善	時代に合った人生のセレモニー的な目標となれるような内容と年齢を相互に検討されたい。
			縮小	100歳は良いと思うが、77歳、88歳については考える所がある。特に77歳は再考する必要があると思う。
			全部改善	平均寿命が高くなり、団塊世代の高齢化を見据えるとせめて77歳の祝い金は必要ないのではないか。
			全部改善	100歳の方にお祝い・敬意を表す何らかの事業を引き続き考えたい。77歳は今や若いのではないか。民生委員の訪問のきっかけになるので、何らかの形で継続を。
15	特定健診・特定保健指導事業	一部改善	一部改善	受診率向上の為、何が出来るか。難しいですが工夫が必要。
			一部改善	理解しやすい内容で受信への関心を高めてもらえるような新たな周知の方法を考えて欲しい。地道な健康への関心を高める工夫を継続して行って欲しい。
			一部改善	事業そのものはよい事業であるが、議論のとおり受信者の増加手段方法が課題。
			一部改善	働き盛りの検診率を上げる工夫をする必要がある。(検診方法、キャッチコピーの採用等)
			一部改善	注意喚起のキャッチフレーズを募集(小・中学生→親の意識が変わる)(長い目で、学校教育で健診の重要性を)

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
16	健康ポイント事業	拡大	拡大	若い人の参加率向上が課題。まちづくり、スポーツ振興など横断的な取り組みを。
			拡大	健康診断受診者増への具体的な取り組みとしても期待できる。LINEアプリの利用等も極めて先進的取り組みとして評価できる。
			拡大	良い事業であるが、利用者の拡大が望まれる。
			一部改善	健康づくりのために画期的な事業であり、LINEの使用など工夫されている。新たな工夫をするなど、更に発展させて欲しい。
			拡大	画期的な事業であると思う。若い人がアプリを通して多く参加してくれることを期待。PRを各イベントでどんどんしていく。
17	空き家バンク制度	一部改善	拡大	重点地区を決めて、空き店舗対策と合わせて進める必要がある。シェアハウス、アートヴィレッジ、IT企業の誘致、古民家活用など、PRの材料になるように工夫したら産業振興、観光振興などともリンクする。
			一部改善	時代に合った新たなバンク登録の条件を見直し、交流人口も含めた人の交流を活発にすべき。空き家コーディネーターの新設は評価できる。
			一部改善	事業内容はとても良く検討していると思う。新たな登録に向けての周知を望む。
			一部改善	継続して進める必要がある。
			拡大	地域をよく知るコーディネーターにより成果が出てきている。引き続き力を入れて進める。若い人が来てくれるよう社宅契約等も検討してはどうか。
18	幸せ結婚・出産応援事業（婚活イベント）	一部改善	全部改善	市内在住者の参加率を上げるために何が出来るかわからないし、成果指標が良く見えないので、何のために婚活イベントをやっているのかわからない。それよりも、同窓会支援の方が大切ではないか。
			一部改善	新たな行政の連携を含めた広域での取り組みも必要と思われる。
			一部改善	企画が大変だと思うが、婚活イベントの開催をすることは意義があると思う。結果が現れづらいので、成果を求める事業としては、方法の検討を望む。
			一部改善	目的に対して成果の把握ができない。運営方法の検討が必要と考える。
			一部改善	広域でこういう婚（恋）活イベントの連携を取りたい。同窓会支援を広げる。PR不足。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
19	災害対策事業	一部改善	一部改善	減災リーダーを増やすだけで良いのか疑問。他県の事例や防災意識の向上に役立つ方法を研究して実施したらよいと思う。
			一部改善	何よりも住民一人ひとりが具体的な災害時の初動が具体的に起こせるような学習（事例）の場が出来るだけ多く必要。地区の減災リーダーの活動に期待したい。
			一部改善	市民の意識を高めることが重要であるが、なかなか大変だと思う。しかし、常に市民に対し呼びかけることを続けることが重要。地区長会との連携をどのように取ったらよいか。
			一部改善	防災・減災への取り組みは重要であるが、市民一人ひとりの認識は必ずしも高くはないと思う。地域減災リーダーの地域差を少なくするなど、さらに積極的な取り組みが必要。
			一部改善	地域減災リーダーが中心となって住民に根付いた活動がなければ真の減災先進地区とはなり得ない。各地区の集まりの際に話題にのせるなど浸透させる等の工夫が必要。
20	地区活動推進事業	一部改善	一部改善	自治のベースなので、コミュニティ作りに努力する。
			一部改善	コミュニティの形が時代とともに変化中、新しい住民へのコミュニティ活動の重要性を説く努力を、行政と自治区（会）の共働によって行うしかないのでは。
			一部改善	地域活動は地域を守るという意味で、とても重要な活動。事業を後退させることはできないので、平素よりコミュニティ活動への応援を願う。
			一部改善	地区活動は防災・減災の取り組みのためにも重要である。入会をしてもらう方法等を検討し、自治会加入率を高める必要がある。
			一部改善	防災の観点からも自治会への加入を勧めたい。